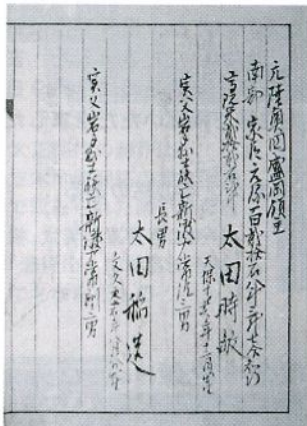


# 十和田市立 新渡戸記念館だより

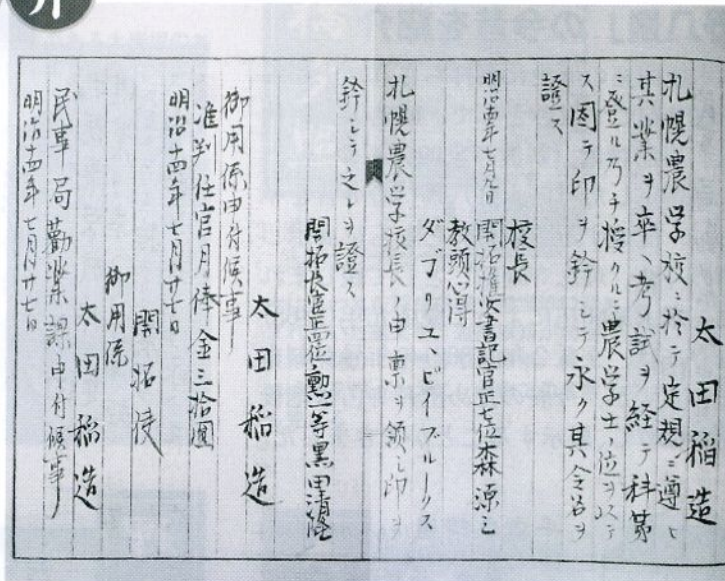
## 収蔵資料紹介

資料名：太田時敏雑記  
年代：明治時代



太田時敏雑記

太田時敏雑記  
表題ならびに  
見開きページ



太田時敏は新渡戸稲造の養父であり、雑記には稲造に関する記述が多く見受けられます。稲造の札幌農学校卒業後の開拓史としての農商務省勤務関係記述部分には、明治14年7月9日農学校卒業後、同月27日付けで開拓史御用係民事局官業課配属を拝命したこと、さらに俸給額やその後の省内での異動等が詳しく記されています。

## 新渡戸稲造の養父・太田時敏の資料

太田時敏は、太田家に養子に行った新渡戸傳の四男で、一時、三本木原開拓の御用掛も務めています。昨年12月の当館2階書庫改修工事の折、太田時敏が残した「太田時敏雑記」を発見しました。冒頭、太田時敏とその養子となった稲造の記名から始まるこの資料には、三本木原開拓や一族についての詳細な記録のほか、稲造の札幌農学校卒業から農商務省勤務時代の履歴なども詳しく記され、養父としての稲造に対する深い愛情が感じられる資料です。



▲太田時敏



◀太素塚境内にある顕彰堂にまつられている新渡戸稲造直筆の太田時敏位牌。裏面には命日が「大正四年一月二十日」と書かれ、位牌の覆い裏面に「昭和八年五月十九日 於三本木新渡戸稲造書」とある



◀当館所蔵の太田練八郎(時敏)着用鎧

## 平成19年度第一回太素顕彰会役員会・総会を開催

6月19日(火)、十和田商工会議所5階会議室において平成19年度第1回役員会ならびに総会が開催されました。今年度から太素顕彰会の組織が変わったということもあり、これまで理事会ならびに評議員会として開催していたものを、役員会ならびに総会として行いました。太素顕彰会会長・石川正憲十和田商工会議所会頭が議長を務め、平成18年度事業報告ならびに収支決算報告について審議が行われました。また、会議の席上櫻田常務理事より、来年の稲生川上水150年では実行委員会を立ち上げて記念コンサートなどイベントを大々的に開催したいと考えている旨役員ならびに会員へ報告があり、今後実務者レベルでの打ち合わせに入っていくことが了承されました。



あおもり県民カレッジ手帳持参の方は観覧料無料

期間：10月1日～31日  
※十和田市民は常に無料です

稲生川上水149年記念企画展

# 三木野八景

～伝えたいふるさとの風景～

平成19年 8月1日(水)～9月30日(日)

## 「三木野八景」の今昔を紹介

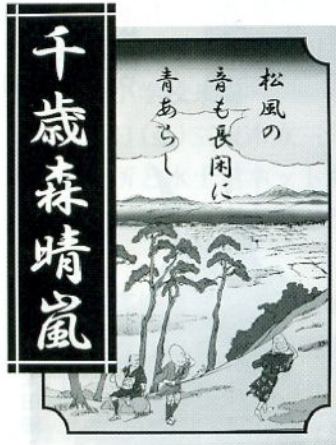
本展では、三本木原開拓の歴史に裏打ちされた十和田市の風景の魅力を掘り起こす試みとして、明治大正時代の三本木の文化人・岩館精素（新渡戸家四天王の一人・岩館善八の長男）が選定した「三木野八景」の今昔をイラストと写真で示し、関連する開拓資料とともに展示しました。また八景の一つ“理念寺晩鐘”として親しまれた理念寺と同様に三本木原開拓によって慶応元年(1865)に建立された澄月寺には、文久2年(1862)の年号が刻まれた半鐘が残っていますが、今展のため澄月寺苦米地俊乗ご住職より鐘をお借りし、展示することができました。



企画展開催にあたっては、澄月寺様はじめ各方面からご協力いただきました。また、展示紹介記事を東奥日報に8月9日(木)から8回連載で掲載いただきました



◀今回展示した文久2年の銘のある澄月寺の半鐘



### 千歳森晴嵐(せんさいもりせいらん)

景物：千歳森の広野に吹く山風  
季節：春

明治・大正時代松風の音で親しまれた松林が千歳森稲荷神社の周囲にあったが、今は残っていない



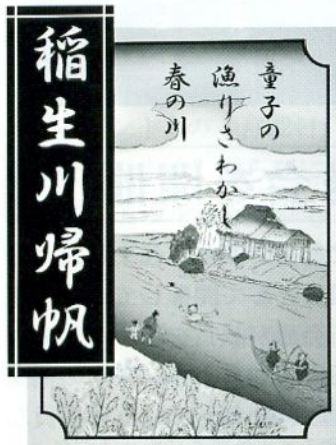
千歳森稲荷神社(市内元町)▶  
三本木原開拓によってできた三本木稲荷神社(市内稲生町九丁目)の元宮



### 理念寺晩鐘(りねんじばんしょう)

景物：理念寺の夕暮れの鐘  
季節：夏

昭和18年(1943)に供出された理念寺の鐘(供出前の記念写真)。明治・大正時代、この鐘の音が“理念寺晩鐘”として人々に親しまれた



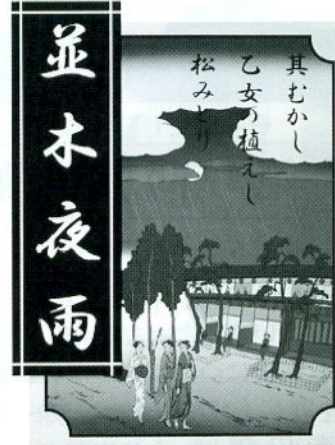
### 稲生川帰帆(いなおいがわきはん)

景物：稲生川に浮かぶ舟影  
季節：春

安政6年(1859)5月4日、稲生川への上水成功の日、新渡戸十次郎はじめ数名が舟に乗り、稲生川を下ったという記録が残っている



昭和10年代の稲生川 ▶  
当時は魚釣りをする子供たちの姿が多く見られた



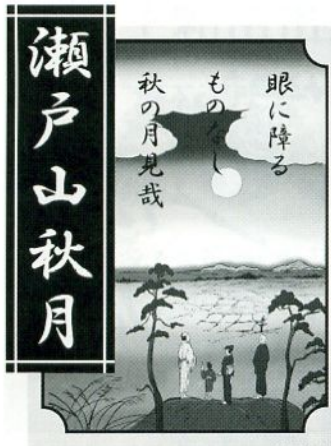
### 並木夜雨(なみきやう)

景物：雨にぬれる夜の松並木  
季節：夏

市内穂並町北側の旧国道四号沿いには、幕末に稲生町三丁目の遊女たちが植えたという松並木が昭和30年代まで残っていた

市内三本木中学校の南西 ▶  
に残る松並木  
かつてはこのような並木が旧国道四号の穂並町にもあった





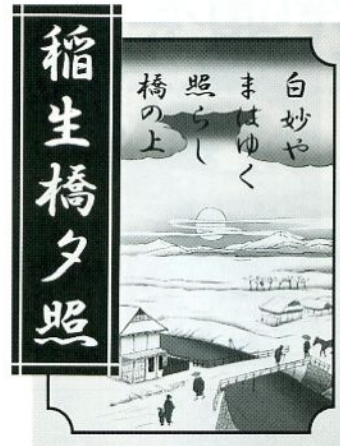
瀬戸山秋月 (せとやましゅうげつ)

景物：瀬戸山に昇る秋の月  
季節：秋

新渡戸記念館のある太素塚のあたりは少し小高く、かつてはこの一帯を「瀬戸山」と呼び、月見の名所として親しまれた



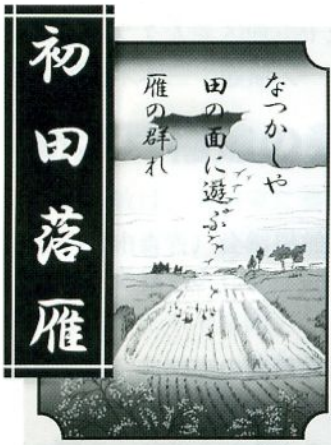
大正時代の瀬戸山  
三本木原開拓の産業開発で試みられた瀬戸焼の釜跡。太素塚東裏手にあり、「瀬戸山」の地名はそれにちなんだもの



稲生橋夕照 (いなおしせきしやう)

景物：夕日に照り映える稲生橋  
季節：冬

今は失われた稲生橋欄干擬宝珠に刻まれていた銘文を、岩館精素が明治21年(1888)に書き写した原稿。銘文には橋を作った大工、鋳物工の名前も見える



初田落雁 (はつたらくがん)

景物：初田に降りる雁の群れ  
季節：秋



初田の沢 (市内三木野公園裏手) ▶  
三本木原開拓で初めて作付けされた場所を「初田」と名づけている。沢地に稲生川の水を引き込み開墾された場所で、そのなごりの沢が今も残る



太素塚暮雪 (たいそづかぼせつ)

景物：太素塚に積もる暮れの雪  
季節：冬

新渡戸傳は慶応2年(1866)73歳の時、太素塚を自らの墓所として建立、明治4年(1871)ここに埋葬された

雪の太素塚  
雪の夕暮れは大正時代さながらの風情だ



トピックス

館内に設置の三本木小学校6年生制作

「新渡戸稲造ガイドブック」が来館者に好評です!

今年3月卒業の三本木小学校6年2組(担任:常田幸宣先生)32名の生徒が作成した『新渡戸稲造ガイドブック』8冊を館内に設置していますが、来館者のかたがたから「子供たちが作ったとは思えないくらいよく出来ている」と大変好評です。こどもたちはグループに分かれて記念館で調べ学習を行い、社会科の授業の締めくくりとしてガイドブックにまとめました。クイズやキャラクターを使って稲造の業績を紹介するなど、イラストを交えて読みやすく工夫されていますので、ぜひ一度ごらんください。



三本木小学校6年生制作「新渡戸稲造ガイドブック」の一部

### ありがとうございました

●市内在住のサツキ愛好家・瀬川安雄さんが、5月から6月にかけてサツキ2鉢を記念館入り口に出品くださいました。

バラの様な八重咲きのサツキ▶に、来館者の方から「珍しいですね」との声がきかれました



### 関連情報

#### ◆太素塚清掃奉仕

7月1日(日)・8月5日(日) さわやかクラブ 様  
ありがとうございました

#### ◆稲生川歴史研修「稲生川みずものがたり」で三沢市立三川目小学校来館

6月29日(金)三沢市立三川目小学校が、上北地方農林水産事務所と水土里ネット稲生川が実施している小学生対象の“稲生川みずものがたり”で来館しました。

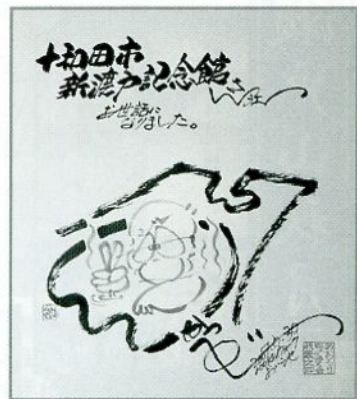
#### ◆幕末蝦夷地陣屋・大砲台場絵図の調査で奈良女子大学戸祭教授ほか5名の研究チームが調査に来館

8月9日(木)～10日(金)、独立行政法人・日本学術振興会平成18年度科学研究費補助金による「北海道・東北各地所蔵の幕末蝦夷地陣屋・囲郭に関する絵地図の調査研究」で、研究代表・奈良女子大学文学部戸祭由美夫教授はじめ5名の先生方が来館され、新渡戸十次郎が作成に関わった幕末の南部盛岡藩蝦夷地陣屋・大砲台場絵図29点を調査しました。

#### ◆ウォーキングイベントでの団体来館が相次ぐ

JR東日本で企画する『駅からハイキング&ウォーキングイベント』の4月22日(日)“日本の道百選「駒街道」の桜並木を歩く”ならびに6月23日(土)“20万株の花菖蒲と武士道のルーツを訪ねる”(JR東日本青森支店企画)2コースで当館が見学ポイントとなり、約60名が来館しました。また、6月30日(土)には“あおり100キロ歩く会”(代表：伊奈かっぺいさん/鹿内ひろしさん)

主催の「官庁街から奥入瀬溪流を～100kmハーフウォーク～」の開会式が当館前で行われ、式の前に参加者約50名が館内を見学しました。同会は県内外の素晴らしさを再発見しようという企画で発足され、今年で20年目になるとのことでした。



“あおり100キロ歩く会”の代表の一人であるタレントの伊奈かっぺいさんよりサイン色紙をいただきました

### 活動報告

#### ◆館長講演会

8月8日(水)平成19年度上十三地区老人クラブ連合会研修会(十和田市文化センター/演題：三本木原開拓と新渡戸三代)

#### ◆博物館関係会議等への出席

6月14日(木)青森県立郷土館協議会(青森市)へ館長が出席しました。

#### ◆青森県立郷土館企画展へ当館所蔵の南部盛岡藩御軍船図を貸出

青森県立郷土館特別展「よみがえれ北前船—北国の海運と船展—」[会期：8月15日(水)～9月17日(月)]へ当館所蔵の南部盛岡藩の御軍船図「虎丸御軍船於大畑御乗初繰之図」「虎丸御軍船御造立之図」2点を貸し出しました。

#### ◆7月3日(火)～6日(金)三本木中学校の職場体験学習「三中トライやるウィーク」で1名を受け入れました

当館で職場体験した▶  
三中トライやる・2年生 櫻田陽輔くん



### 〈編集後記〉

早いもので記念館だよりも50号を発刊することができました。これも市民の皆様のおかげと感謝いたしております。企画展『三本野八景』を開催しており、本号に特集しましたが、展示資料など直接ご覧いただくとベストですのでどうぞいらしてください。間もなくホームページもリニューアルします。

(館長代理 新渡戸常憲)

### 発行 太素顕彰会

十和田市立新渡戸記念館

☎034-0031 青森県十和田市東三番町24-1

TEL (FAX) 0176-23-4430

E-mail: nitobemm@hi-net.ne.jp

http://www.towada.or.jp/nitobe/

印刷 株式会社 岩間印刷